

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	福祉措置	福島町保育運営事業	福島町	1,331,000	1,331,000	総事業費1,477,212円

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	福祉措置	福島町保育運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		福島町		
交付金事業実施場所		認定こども園福島保育所		
交付金事業の概要		安心して産み育てられる環境づくりを実施するため、本交付金を活用して、0～2歳児及び障害児の充実した保育を行います。(臨時保育士2名の人件費5ヵ月分)		
総事業費		交付金充当額		1,331,000
		うち文部科学省分		0
		うち経済産業省分		1,331,000
交付金事業の成果目標		<p>少子高齢化が進む中、町では定住少子化対策を積極的に進めておりますが、引き続き安心して子どもを育てる環境づくりに努める必要があります。</p> <p>このような中で、町では、福島保育所に正規職員のほか0～2歳児及び障害児の充実した保育を行うため、臨時職員を採用しており、子どもたちに対するきめ細やかな対応と保護者が安心して預けることができる環境づくりを継続して実施することができ、今後も子育て支援の需要の動向を踏まえて、保育行政を充実させる環境作りを継続し、住民の福祉向上を図ることが目標となります。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>町の「出産祝金事業」や「高校生までの医療費の無料化」などの少子化対策もあり、年々出生人数が増加している中で、若い世代の町民からは「子育て支援」や「仕事と生活・育児の両立ができる環境づくり」の充実が求められております。</p> <p>平成27年に引き続き、本交付金を活用し、臨時保育士2名を維持することによって、幼児・児童の保育環境(短時間保育や延長保育)の充実や子どもがいても安心して保護者が働き続けられる環境づくりを継続して行うこととします。(対象児童数40)</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>本交付金の活用により、臨時保育士人件費(2名)5ヵ月分を確保し、保育士2名体制を維持することにより、安心して産み育てられる環境づくりや幼児教育に係る内容の充実、小学校教育への円滑な接続による福祉環境の整備を図ることができました。(対象児童数43名)</p> <p>本交付金によって、充実した幼児教育を行っていることを、保育所の各種行事を通して地域や保護者へ周知・理解促進を図っていく予定です。今後も引き続き当町の保育環境の維持につとめてまいります。</p>		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方
臨時保育士の人件費		雇用		保育士2名
		計		1,477,212
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	
			H33	

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。